

【令和4年度 授業改善推進プラン】

板橋区立 中根橋 小学校

第1学年

【国語】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音読の際、字をすらすら読めない児童が数名いる。 ・教師の話や友達の話最後まで集中して聞くことができない児童がいる。 ・ひらがなやカタカナを書くことが苦手であったり、書けなかったりする児童がいる。 ・文の中で、促音、拗音、「は」「を」「へ」「っ」を正しく使うことが難しい。 ・全体の前で自分の意見を発表することに慣れていない児童が多い。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書くことの多い授業で、時間内に終わらない児童への時間確保。 ・授業中、文字が書けない児童への支援が不十分になってしまう。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音読の際、どこを読んでいるのか指で追いながら読む習慣をつける。 ・読み書きを繰り返し行い、基礎基本の定着を図る。 ・対話の時間をたくさんとり、自分の意見を率直に言える機会を多く設ける。 ・ノートやワークシートに文を多く書かせたり、電子黒板を使って分かりやすく文字を書かせたりする時間を多くつくる。 ・日記指導をはじめ、文を書くことに慣れさせる。

【算数】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10までの加法・減法が速やかにできない児童がいる。 ・計算時に指を使う子が多い。また、算数ブロックを使わせるが、うまく操作できない子もいる。アレイ図をかき、計算時に生かす子もいる。 ・文章問題において、「ぜんぶで」「のこりは」などのキーワードをもとに正しく式を立てることが苦手な児童がいる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自力で速やかに計算できない子に対して、算数ブロックを使いこなせるようにする、またはアレイ図を使いこなせるようにすることが課題である。 ・計算問題や文章問題において支援を要する子が多数いるため、一人一人への学習支援が不十分になってしまう。 ・文章問題も含め、問題練習を反復練習して、計算力を定着させることが必要。

<p>■授業革新推進に 向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板を効果的に使ったり、具体物やゲーム的な手法を授業時に取り入れたりして、算数的な考え方に対する関心・意欲をもたせる。 ・個別指導が必要な児童については、算数ブロックの操作やアレイ図の活用を一人でできるようにしていく。 ・計算問題や文章問題に繰り返し取り組ませ、問題に慣れさせる。 ・宿題でも繰り返し計算問題を出し、家庭での定着を図る。
--------------------------------	--

【生活】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内や地域で、習慣的にあいさつをするなど、人との関わりにおいて挨拶が大切であることに気付いている子が多い。 ・アサガオへの水やりを積極的にする子が多くいた。 ・手触りや形に気を付けるなど、五感を使った観察を指導し、それに倣って丁寧に観察する子が多くいた。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関わり合う活動を多く取り入れ、関わり合い支え合って学習活動が成り立っていることに気付かせる。 ・児童が主体的に学べるよう、単元ごとの教師側の問いかけを重要視する。 ・授業や観察カードを通して、友達との関わりや気付きを表現できるようにする。
<p>■授業革新推進に 向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園探検や学校探検から、自然や人との関わり合いに対する気付きを広げていく。 ・観察カードの表現や気付きなど見本となる箇所を他の児童にも紹介し、子供達が次の学習に生かせるようにする。 ・コロナウィルス感染症に伴い、今後の動向は分からないが、近隣の幼稚園・保育園児や敬老会の方との交流をより充実させる。

【音楽】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく音楽に関わり、声を合わせて歌うことや身体の動きを取り入れることに興味をもって活動している。 ・拍に合わせてリズムをとることができない児童がいる。 ・「歌唱」では、多くの児童が、歌を聴きながら楽しく口ずさんでいる。 ・「器楽」では、鍵盤ハーモニカに意欲的に取り組むが、コロナ禍の影響で練習時間が十分にとれず、「ドレミファソ」の指使いが正しくない児童が多い。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・曲に合わせてリズムよく手拍子できない子への支援が必要。 ・鍵盤ハーモニカを演奏する時に、タンギングや指をうまく運べない児童への支援が必要。

<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくり手拍子をしたり、1小節ずつ繰り返したりする練習を取り入れ、リズムに慣れさせる。 ・友達のリズム打ちや打楽器の発表を聞き合い、友達同士の学び合いを取り入れる。
---------------------------	--

【図画工作】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を聞いて、活動の内容を理解できる児童が多い。 ・題材に興味をもって、意欲的に取り組んでいる児童が多く、積極的に楽しんで製作している。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感触等、体全体の感覚を働かせながら、楽しさや喜びを感じる体験をたくさんすること。 ・身近な材料を用いたり、扱いやすい用具を使ったりして、児童がそれらに十分に慣れること。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・材料・用具との出会いの時間を十分に確保して慣れさせ、自分の感覚や行為を通して、形や色などに気付かせる。 ・はさみ、のり、クレパスなどの扱い方や安全指導を徹底する。 ・準備や片付けに責任をもって取り組ませる。

【体育】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・走ったり、体を動かしたりする活動に意欲的に楽しそうに取り組んでいる。 ・協力して準備や片付けができる児童が多いが、集合、整列、話を聞くなどの集団行動がうまくできない児童が数名いる。 ・準備体操の間に、体の各部位をしっかり伸ばせない児童がいる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自らを表現できる運動を取り入れる授業が少ない。 ・接触をしない動きや運動を考え、指導していくことが難しい。

<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動や基本的な生活習慣、ルール等については、継続した個別指導を行う。 ・グループ活動など学習形態を工夫して、友達同士の学び合いや教え合いを取り入れる。 ・ゲーム的な要素を取り入れ、様々な動きを楽しく経験できるようにする。 ・児童自らの体を使って表現できる運動を、ラインや運動器具を使って表現する。
---------------------------	--

【特別の教科 道徳】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された資料を見ながら、内容項目関わる自分の考えや思いを馳せることができている。そのことを意欲的に発表しようとする子も多い。 ・道徳の授業で考える内容が、自分たちの生活に関わっていることに気付いている子が多くいる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料や場面絵の提示の仕方、デジタル教科書の効果的な使い方を工夫する。 ・題材を通して気付かせたい、内容や望ましい行いに気付き深めることが苦手な児童に対しては、内容項目に迫る児童からの発言を取り上げ、考える手がかりにさせる。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を見つめ返す時間では、日常生活の中での具体的な場面を思い起こさせ、子供達自身が内容項目を生かしていけるよう意識付けさせていく。 ・デジタル教科書や掲示物の活用や、動作化の活動を効果的に取り入れ、主題や内容項目を感じ取りやすいよう発問や授業の進め方を工夫する。 ・授業で取り扱った内容項目を、学校生活の中で折に触れてフィードバックし、子供達の意識の中に根付かせていく。

○ 言語活動の充実

- ・朝の時間等に読書や読み聞かせを行い、読書活動の充実を図る。
- ・朝の会の日直のスピーチや帰りの会の振り返りを通して、発表する力を付ける。また、聞く側も質問や感想を伝えることで、聴く力を付ける。
- ・毎週末の課題として日記を書かせ、文章化させることで表現する力を伸ばす。

【令和4年度 授業改善推進プラン】

板橋区立 中根橋 小学校

第2学年 【国語】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に発言する児童が多い。 ・視写の速度に個人差がある。 ・話形が整っている児童が多い。 ・人前でも、自分の言葉で話そうとする子が多い。 ・文章を書く際、改行や文のまとまりを意識できていない子がいる。 ・1年生で学習した漢字が定着していない子がいる。 ・読書を進んでする子が多い。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・滑舌が良くなく、発声が弱いため、聞き取りやすく話せない子がいる。 ・文章を書く際の、初め・中・終わりが意識できていない子がいる。 ・感想や自分の考えを記述することが難しい子がいる。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・考えや感想の記述につまずく子達のために、必要な用語やポイントを提示し、何を書いたらいいかを補助する。 ・文章を書く機会を多く設けて、文体を整える習慣をつけていく。 ・整った文が定着して書けるよう、文を書くときは必ず「主語」「述語」や「はじめ」「中」「おわり」を意識するよう助言する。 ・授業中ペアだけではなく、複数の友達と交換して読み合ったり、話し合ったりできる場を設ける。 ・一年生の頃から、友だちの意見や自分が発表する場合の規律、授業中のルールが徹底されているので、継続を図っていく。 ・自分の意見を言ったり、書いたりする活動を充実させ、表現力を高める。

【算数】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・たし算、ひき算の筆算では、くり上がりやくり下がりになると時間がかかったり、位取りを間違えたりする児童がいる。 ・答えを出すことはできるが、自分の考えを自分の言葉で分かりやすく伝えることを苦手とする児童が多い。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長さの単位、かさの単位の理解があまり深まらなかった。 ・くり上がりやくり下がりの計算について、正しくすらすらできるように、反復練習に取り組む必要がある。 ・答えを求めるだけではなく、自分の考えを自分の言葉や図などで分かりやすく伝える活動を多く取り入れていく必要がある。 ・集中力が持続しない児童の個別指導を行っていくことが課題である。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、習熟度別少人数指導の充実を図り、できる限り個々のペースに合わせて学習していける環境を作る。少人数指導での情報交換を行い、活用する。 ・朝学習で計算などの反復練習に取り組む機会を増やす。 ・問題解決学習を中心に授業を組み立て、自分の考えを伝える活動を取り入れる。また、交流した考えを比較分類してそれぞれの良さに気付き認め合えるように指導する。 ・個別指導が必要な児童については、個人に合ったプリントを用意する。 ・習熟のためにミライシードを活用する。

【生活】

<p>■ 児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生に学校のよさを伝えるための「学校たんけん」を成功させるために、意欲的に考え準備を進めることができた。 ・ 野菜の観察は、児童一人一人が興味・関心をもって、水やりの世話をよくしていた。成長の変化に気を付けて見ていた。 ・ 気付いたことを書いたり話したりする内容に個人差があった。 ・ 中板橋の町を散策し、どこの魅力を伝えようか、先の学習を考えながら活動に取り組むことができていた。
<p>■ 指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人との関わりの際、正しい言葉遣いができない子がいた。 ・ どのように尋ねれば、知りたい情報が得られるのかを考える経験が不足している。 ・ 観察カードを書く際、記録するための着眼点が分からない子がいる。 ・ 伝え合いの学習活動の経験が不足している。
<p>■ 授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な関わりを築くための言葉遣いが習得できるよう、声かけ指導していく。 ・ 国語の学習と関連付け、得たい情報を引き出すための練習を多く経験させる。 ・ 観察カードを書く時の着眼点を、活動の初めに提示する際、写真や文などを例示してイメージしやすいようにする。 ・ 調べ学習を通して、分かったことや考えたことを自分の言葉でまとめ、伝え合う学習活動を多く設け、経験を増やす。

【音楽】

<p>■ 児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しく音楽に関わり、友達と声を合わせて歌ったり、思いをもってリズム打ちや合奏をしたりしている。 ・ 『歌唱』では、音の高さに気を付けて楽しんで歌おうとしている。 ・ 『器楽』では、指遣いに気を付けて鍵盤ハーモニカの演奏に取り組もうとしている児童が多い。
<p>■ 指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鍵盤ハーモニカの活動では個人差が大きく進度が合わない。 ・ 体を動かして表現することが苦手な児童がいる。
<p>■ 授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鍵盤ハーモニカは、ペアで聴き合う活動を取り入れ認め合いをしたり、早く終わった児童がミニ先生になり教え合いをしたりと、協働的な活動を多く取り入れる。 ・ 音楽鑑賞の時間をモジュール的に取り入れ、体を動かす表現活動に慣れ親しませる。

【図画工作】

<p>■ 児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 題材に興味をもって意欲的に取り組んでいる児童が多く、積極的に楽しんで作品を製作している。 ・ 友達の作品にも興味をもって、見合うことを楽しめる児童が多い。 ・ 片付けの手順などを知る場面で、話をよく聞かず、別の行動をしてしまう児童もいる。
<p>■ 指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感触等、体全体の感覚を働かせることに、楽しさや喜びを感じる体験をたくさんすること。 ・ 身近な材料を用いたり、扱いやすい用具を使ったりして、児童がそれらに十分に慣れること。 ・ 授業の受け方、話の聞き方、係としての役割など、基本的な授業

	態度を身に付けること。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> ・材料・用具との出会いの時間を十分に確保して慣れさせ、自分の感覚や行為を通して、形や色などに気付かせる。 ・はさみ、のり、ステープラー、カッターなどの扱い方や安全指導を徹底する。 ・準備や片付けに責任をもって取り組ませる。 ・手順などが見て分かるように、掲示物などの提示をする。

【体育】

■児童の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手であっても積極的に運動遊びに取り組む児童が多い。 ・運動やゲーム的な思考において、支援を必要とする児童がいる。 ・作戦や運動の工夫などを伝え合うことが難しい児童がいる。
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする度合いに差があり、一人一人に応じた支援に工夫が必要である。 ・児童自身が運動遊びにめあてや達成への見通しをもって取り組めるよう、自分の考えを書いたり、作戦会議をしたりする時間が必要であった。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> ・個々への適切な支援ができるよう、適宜学級ごとの授業、学年での授業を組み合わせるようにする。 ・ペアやグループでの活動を取り入れ、互いの動きを見合ったり、作戦をたてたりするなど、友達と交流する場を多く設定する。 ・児童個人の考えをまとめる時間やふりかえりの時間を確保し、次への活動への意欲につなげていく。 ・ゲーム的な要素を取り入れ、様々な動きを楽しく経験できるようにする。

【特別の教科 道徳】

■児童の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳ノートを活用して一人一人が教材に対しての自分の考えを書き、マグネットシートに書いて黒板に貼るなど発表をしない児童の考えも共有することができた。 ・道徳的価値を理解することはできるが、自分の生活に照らし合わせ、行動に結びつけることが難しい。
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・じっくりと考えさせる時間が、やや少なかった。 ・資料や場面絵の提示の仕方、教科書の効果的な使い方をもっと工夫する必要がある。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ児童が教材に入り込めるように、導入の工夫をしたり具体物や映像を活用したりする。 ・場面演技などで登場人物の“気持ち”に寄り添ったりする時間を確保する。 ・友達との意見交流が十分できるように、発言の時間を確保する。

○言語活動の充実

- ・朝の時間等に読み聞かせを行い、読書活動の充実を図る。
- ・授業中、適宜相手のよいところを見つめる時間を確保し、互いを認め合える環境をつくる。
- ・朝や帰りの会、及び授業の中で意見を発表するとき、簡単な理由をつけて話すようにさせる。
- ・視写や短作文を書く活動を適宜取り入れていく。
- ・「言葉の貯金箱」に知らなかった言葉や大事な言葉を掲示する。

【令和4年度 授業改善推進プラン】

板橋区立 中根橋 小学校

第3学年

【国語】

■児童の状況	<ul style="list-style-type: none">・読書活動に意欲的な児童が多い。・言葉に興味を持ち、自ら辞書を使って意味調べをする児童が多い。・「最後までしっかり話しを聞く」ことが定着しておらず、一つの課題が終わって、自分から次の活動に進むことができないことがある。・主述の関係を明確にして順序よく話したりすることが苦手な児童が多い。・漢字の書き取りでは、個人による定着度の差が大きい。・語彙数が多い子と少ない子と個人差が大きい。
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">・相手に意図したことが伝わる話し方をすることが課題である。・既習漢字を日常生活の中で使えるようにさせることが課題である。・語彙数を増やす活動を取り入れる必要がある。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none">・自分の意見やその理由をノートに書かせる機会を多く設定し、互いの意見交流が日常的になるよう意図的に場面を設定していく。・既習の漢字を全体やペアチェックさせることで定着していない漢字を練習するシステムで学習に取り組んでいく。・意味調べをする習慣がつくように学習の中に国語辞典を活用する時間を組み込む。・意味調べをする習慣がつくように学習の流れに組み込む。

【社会】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・板橋区の様子や道路や鉄道の学習に対して意欲的である。 ・写真やグラフ、地図等の資料を見てどんなことが分かるか、読み取れるようになってきた。一方、板橋区の位置の把握や方位など地理的な理解に課題が残る児童もいる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書やクロームブックを使った資料に関しての読み解く力をさらに伸ばすこと。 ・身の回りの事象に対して自分なりの考えをもったり、それを表現したりすることが課題である。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの事象と自分の生活との関わりの深さに気付くような学びを工夫する。 ・クロームブックや電子黒板などを活用し、写真、動画、表やグラフなどの視覚的な資料を効果的に提示する。 ・ムーブノートやオクリンクを使って資料を提示し、自分なりの考えを表現する。さらにそういった考えが児童同士で共有できるようにする。

【算数】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・技能に関しては、プリントを使った繰り返しの練習で育ってきている児童が多い。 ・自分の考えや解き方を、ノートに書くことができる児童が増えてきているが、分かりやすく伝えたり、整理して伝えたりする力が課題である。 ・たし算、ひき算、かけ算は多くの児童が定着しているが、10以上のたし算も難しい児童もいる。 ・コンパスに苦手意識をもってしまっている児童が多い。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・くり上がりのたし算やくり下がりのひき算、かけ算の筆算については正確さと速さ、筆算を丁寧に書くことが課題である。 ・コンパスや定規など正しく取り扱いができるように、反復練習に取り組む必要がある。 ・自分の考えをわかりやすく皆に伝えられるよう、筋道を立てて話す技能が不十分である。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートに自分の考えを書いて伝えたり、教え合ったりする場面を意図的に設定していく。 ・ノートの使い方を丁寧にを行う。自分の考えやその時間ごとの振り返りが書けるようにするとともに、筆算などもマスの中に丁寧に

	<p>書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の計算や測定などが正しくできるように、児童の実態に合わせて、繰り返し指導する。また、発表の仕方や声の大きさに気をつけて、聞いたり話したりする。
--	---

【理科】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な視点から動植物を観察できる児童が増えてきたが、2つの対象物を観察した場合に、それらを比べながら観察できる児童は少ない。 ・生き物に興味関心が高い児童が多いが、えさやりや水やりなどの世話を根気強く続けることができない。 ・実験に関心意欲は高いが、活動ばかりに熱中して、実験の目的を忘れてしまい、結果をまとめられない児童がいる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの対象物を比べながら、共通点や相違点を見出せるような観察の仕方を身に付けさせる指導を工夫することが課題である。 ・課題設定→予想→検証→結果→考察という問題解決型の授業の流れを繰り返し行うようにし、ノートに記録させることが課題である。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2つ以上の対象物を用意し、観察時に比べた気づきを書けるよう学習動画などを用いて観察の視点に気付かせる。 ・検証の前に予想を立てる時間を十分に設けるとともに、課題設定を確認しながら、予想したことを試行する時間を十分に確保する。 ・気付いたことに対して、科学的な物の見方をし、詳しく絵や言葉で表すことができるようにノートや学習シートを工夫する。

【音楽】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に音楽活動に取り組んでいる。 ・話をよく聞き、リコーダーの練習にも丁寧に取り組めているので上達が速い。 ・ペアで聴き合う活動は出来るが、自分から友達と関わるのが苦手な児童がいる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の学習で、自分の考えを言葉で書いたり伝えたりすることが苦手。 ・グループ活動をすると全然話せない児童がいる。 ・色々な曲に興味をもったり自ら積極的に活動したり出来ない児童がいる。

<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動を積極的に取り入れ、協働的に学ぶ良さを伝える。 ・形容詞表から言葉をみつけたり友達と意見を交換したりして、音楽的な語彙を増やす。 ・自由に音楽に触れる時間をもたせる。
---------------------------	--

【図画工作】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・好奇心をもって積極的に取り組んでいる児童が多く、材料や用具への関心が高い。 ・一斉指導で話の全体をつかみ、内容を理解できる児童が多い一方で、どう取り組めばよいのか考えることが難しい児童もいるので、個別に支援が必要。 ・お互いに助け合ったり、教え合ったりすることができる児童が多い。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・危険を伴う新しい用具について、扱い方やルールを守り、その理由も併せて理解し、安全に対する意識をもつこと。 ・一斉指導での理解が難しい児童も、何をするのか理解させ、見通しをもった活動ができるようにすること。 ・前学年までの材料や用具についての経験を生かしながら、手や体全体を十分に働かせて活動すること。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板を見れば、どのような活動をするのか見通しがもてるような掲示物を作成し、板書計画を工夫する。 ・具体的な完成していない見本をいくつか用意して、発想が浮かばない児童が、見たり触ったりすることで製作のきっかけにする。 ・体全体の感覚を通した体験をもとに、形や色などの感じが分かるようにする。 ・友達との対話や見せ合うことを通して、自分の見方や感じ方を広げるようにする。

【体育】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会を通し、学年全体で一致団結して活動することにより集団で体を動かす楽しさを味わうことができた。 ・体を動かすことが好きな児童が多く、意欲的に活動する児童が多い。運動することに苦手意識をもつ児童もいるが、楽しそうに体を動かしている。
---------------	---

<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作戦会議、発表、ふり返りなど考えを伝え合う時間が設定できないことが多い。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてカードや、ふり返りカードを使って、自分の考えをアウトプットできるようにする。 ・体力が向上するように多様な動きを取り入れた授業を組み立てていく。 ・互いの上手な動きを学び合えたり、自分が得意なことを他の児童に教えられるような伝え合いの場を設定していく。

【総合的な学習の時間】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間における課題をもつ→追究する→表現するという流れに慣れていない。 ・自分の興味を優先してしまい、目的やゴールを忘れてしまう児童が多い。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の基本的な流れを理解し、慣れさせることが課題である。 ・課題や目的に沿ったテーマを自身で設定することが難しい。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の抱いた興味、関心を広げ、その上で課題設定を行う。 ・学習の流れを明示し、繰り返し取り組ませ慣れさせる。 ・学習の流れやゴールを視覚的に分かるよう掲示物などでいつでも振り返れるようにしていく。

○ 言語活動の充実

- ・学校生活の中で読書できる時間を計画的に設定していく。また、学級文庫などを充実させ、隙間の時間に本を読むよう声かけをしていく。
- ・声に出して読むことを学校や家庭学習で日常的に取り入れていく。
- ・学び合う場面を意図的に設定することで自分の言葉で意見や思いを理由と共に言い合える場面を促していく。
- ・ノートに記述させる機会を増やすことで「文章を書くこと」に対する苦手意識を和らげていく。
- ・分からない言葉があったらすぐに国語辞典を引けるように教室に用意しておく。

【特別の教科 道徳】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・興味をもって教材文を読んでいる。 ・特定の児童しか発言しないことが多い。 ・考えをまとめ、文章に表すことが難しい児童が見られる。
---------------	---

<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発問を工夫し、揺さぶりをかけ、深く考えられようにしていく。 ・児童から出た様々な意見を、視覚的に分かりやすい板書をする必要がある。 ・「生きる力」を活用するための教材の研究が必要である。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単調にならないよう、児童の実態に応じて資料や教具の選択をする。 ・発言を引き出し、揺さぶりをかける発問を工夫する。 ・自身のこれからの生活に活かすことができようふり返りの視点などを具体的に設定する。 ・意見を分かりやすくまとめた板書の工夫、思考ツールの活用を行う。 ・小グループで意見を伝え合ったり、考えたりする時間も意図的に設定したり、ChromeBookなどを活用したりしていく。

【令和4年度 授業改革推進プラン】

板橋区立 中根橋 小学校

第4学年 【国語】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を文章で記述したり、順序よく話したりすることを苦手とする児童が多い。 ・読書を積極的に行う児童とそうでない児童との差が大きい。 ・「相手の話を最後まで黙って聞く」ことが定着していない児童が多い。 ・漢字の書き取り、読みについては、個人による定着度に差が見られる。 ・言葉の意味を理解していない児童が多い。 ・主述などを考えて話し言葉や、文章を考え表現することが苦手な児童が多い。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習漢字を、日常生活や授業の中で活用できるようにしていくことが課題である。 ・相手が聞き取りやすい話し方を意識させることが課題である。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見やその理由をノートに書かせる活動をくり返し、互いの考えを交流する場面を意図的に設定していく。 ・既習の漢字の定着が不十分な児童にはその都度声をかけたり、書き直しをさせることで、繰り返し習熟を図ったりしていく。 ・意味調べをする習慣がつくように学習の流れに組み込む。

【社会】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習に意欲的に取り組もうとするが、自分の課題と照らし合わせて、必要な情報を収集する力が十分でない児童が見られる。 ・表やグラフなどのデータを読み取る力を高める必要がある。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が興味をもちそうな資料を事前に準備しておく。 ・資料から社会的事象の意味や働きなどを考えたり、自分の考えを述べたりする学習を積み重ねていく必要がある。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的資料を活用して調べる学習や調べたことを基に自分の考えを表現する活動を取り入れる。 ・資料を見てもまとめることが難しい児童には、教師側がお手本を示す等、必要に応じて助言していく。資料の探し方について、支援していく。

【算数】

<p>■ 児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動をするまでに時間がかかり、忘れ物が多い。 ・ 課題に対して、自分なりに解決方法を考えようとする児童がいる一方、声を掛けなければ学習が進まず、意欲的でない児童も見られる。 ・ 十進法をはじめ数量感覚など既習事項が十分身に付いておらず、新しい学習に取り掛かったとき、スムーズに学習が進まない児童がいる。
<p>■ 指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の意欲とも関係しているが、教科で使う言葉の定義ができていなかったり数量を説明するための手段が十分に身につかなかったりしているため自らの考えを伝える手だての指導が十分でない。 ・ 既習事項が定着していない児童や、教具の操作が十分身に付いていない児童などには、個の実態に応じた指導の工夫が必要である。 ・ 既習の計算が速く・正確にできるよう、反復練習に取り組ませる必要がある。
<p>■ 授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題を解決したり、自分の考えを表現したりする活動の機会を増やし、互いの考えを交流していくよさに気付かせ、算数的思考が身につくようにする。 ・ 引き続き、習熟度別少人数指導の充実を図り、習熟度に応じた適切な指導を行っていく。 ・ 朝学習や宿題等で、反復練習を通して、基礎・基本の徹底を図る。

【理科】

<p>■ 児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生き物への興味・関心が高く、積極的に観察し、中には飼育しようとする児童が多い。 ・ 観察や実験に意欲的に取り組むが、結果をわかりやすくまとめたり、わかったことを言葉でまとめたりすることが苦手な児童がいる。 ・ 実験をやるだけになっており、実験の目的などを意識していない児童が多い。
<p>■ 指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題設定→予想→検証→結果→考察という問題解決型の授業の流れを繰り返し行い、ノートに記録させることが課題である。 ・ どんな目的で実験をするのか必ず意識させることが課題である。
<p>■ 授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実験観察の前に、児童一人一人に何のためにこのような実験をするのか意識づけるために板書や発問を工夫する。 ・ 検証の前に予想を立てる時間を十分に設けるとともに、予想したことを試行する時間を十分に確保する。

【音楽】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲に音楽活動に取り組む児童が多い。 ・リコーダーの練習にも意欲的に取り組む児童が増えた。 ・歌声がそろってきて、中には歌い方の工夫を上手に表現できる児童もいる。 ・活動したい気持ちが先走り、話をよく聞くことができない。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・技能面では個人差が大きく、自主練習に取り組めない児童もいるため、個別指導が必要である。 ・リコーダーが出来なくてあきらめてしまう児童がいる。 ・集中して話を聞くことが出来ず、集団活動に入れられない児童もいる。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の話を聞く、音を聴く、心で合わせることを指導する。 ・ボランティアを募るなど外部に協力を仰ぎながら、できるだけ個別指導を行って、出来たら楽しいという実感をもたせる。 ・個で楽しむ音楽から、みんなで楽しむ音楽へ意識をもたせる。

【図画工作】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい技法・用具の扱いに興味・関心をもって、意欲的に取り組む児童が多い。 ・話を聞く態度が身に付いていない児童が多くみられる。 ・一斉指導では、理解することが難しい児童や、うまくいかないとすぐに投げ出してしまふ児童もいるので、個別の支援が必要。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話しの聞き方、準備や片付けの仕方の手順などを身に付けること。 ・危険を伴う新しい用具について、扱い方やルールを守り、その理由も併せて理解し、安全に対する意識をもつこと。 ・一斉指導での理解が難しい児童や、うまくいかず投げやりになる児童にも、やることが分かり、やる気がおきる授業展開を工夫すること。 ・お互いの作品に興味をもって、認め合う気持ちや言葉かけをする気持ちを育むこと。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい話の聞き方、準備や片付けの方法など、視覚的にすぐ理解できる掲示物を準備し、繰り返し声かけして、身に付けさせる。 ・黒板を見れば、どのような活動をするのか、見通しがもてるような掲示物を作成し、板書計画を工夫する。 ・行程の分かる見本をいくつか用意して、発想の浮かばない児童も選ぶことで見通しをもって製作できるようにする。 ・一人一人の製作のよさを見取り、具体的に褒めたり、全体の前で紹介する機会を頻繁にもち、個々の自己肯定感や、やる気が育つようにする。 ・児童が体験的に対象の形や色などの感じが分かるようにし、それらを友達との対話を通して、自分の見方や感じ方を広げるようにする。

【体育】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄棒やマット運動、跳び箱など、調整力が必要な運動に課題をもつ児童がいる。 ・男女ともに、体育の授業及び外遊びの積極的な参加が苦手な児童が多数いる。 ・運動の際にどのように体を動かしたらよいのかを理解できず効果的に練習に取り組むことができない児童がいる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで見合ったり、教え合ったりする時間を確保し、達成感や充実感が得られるように活動を工夫していく必要がある。 ・運動することに苦手意識がある児童に対しては、具体的なアドバイスやお手本を示す。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のめあてをもたせ、練習の場を工夫して活動させていく。 ・グループでの教え合いの時間を充実させ、互いに認め合う場を設定していく。 ・タブレットPCで動画を撮影することにより、チームごとに動きの確認や修正を考えられる活動をする。 ・感覚的にできる運動ではなく理解してできる運動を指導できるように心掛け、体の各部分の動きや段階を追った技の行い方を具体的に指導できるようにする。

【総合的な学習の時間】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習や表現活動に意欲的に取り組み、自分から課題を見付けられる児童とそうでない児童との差が見られる。 ・興味が先行し、めあてを明確にしないまま活動に取り組んでしまう児童が見られる。 ・自分の考えをもって表現をして伝え合うことができない児童もしばしば見られる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何の為の学習なのか、めあてを明確にして、問題意識を強くもって調べられる課題を設定し、持続的に調べていくことができるようにするための手だてが必要である。 ・どのような場合にどの方法で情報収集することが効果的なのか理解させ、使いこなせるようにすることが必要である。 ・自分の考えをノートに書いたり、まとめたりするための手だてが必要である。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・導入の学習を充実させる。画像や実体験を使い児童が実感をもって興味関心を高められるようにする。 ・学習課題の設定をしっかりと行う。導入をもとにして、児童がそれぞれ立てた学習課題を、整理・分類・統合をしてより良い学習課題を立てられるようにする。思考ツールやタブレット端末を活用する。 ・児童が調べ学習をするフィールドを策定する。必要な図書資料やインターネットサイトを提示してその中での調べ学習を基本とする。そのことによって児童の調べ学習が共通の課題をもって進めやすくなり共働的に作業がしやすくなる。 ・集めた情報をどのようにまとめたらよいのかを理解するために図・絵・言葉を使った表現を繰り返して行う。新聞やプレゼンテーションの資料が図・絵・言葉をわかりやすく組み合わせたものであるということを児童に指導し、児童が様々な表現方法でまとめを作成できるようにする。

【特別の教科 道徳】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・興味をもって教材文を読んでいる。 ・特定の児童が発言することが多い。 ・より良い自分になるためにどのように行動したらよいかを考え、文章に表すことが難しい児童が見られる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がこれからの自分に生かしていけるような発問の工夫が必要である。 ・児童から出た様々な意見を、視覚的に分かりやすい板書をする必要がある。 ・「生きる力」を活用するための教材の研究が必要である。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発言を引き出し、揺さぶりをかける発問を工夫する。 ・児童の興味や発達に応じた資料（一枚絵・紙芝居・実物や写真・映像・デジタル教科書）を選択し、児童の主体的な学びを促す。 ・自身のこれからの生活に活かすことができ、余韻のある終末を工夫する。

○ 言語活動の充実

- ・学校生活の中で、読書できる時間を適宜設定していく。
- ・互いの意見を交流する活動を充実させ、自分の思いや考えを抵抗なく伝えられるようにしていく。
- ・声に出して読むことを学校や家庭学習で日常的に取り入れていく。
- ・キーワードや文字数を提示して振り返りを繰り返し書かせることで、まとまった文章を書くことへの苦手意識を和らげ、書くことへの自信につなげていく。

【令和4年度 授業改善推進プラン】

板橋区立 中根橋 小学校

第5学年 【国語】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を積極的に発表しようとする児童がいる一方で、他人の発言を聞くことについての課題も多い。 ・学習の振り返りやテストの解答を書くとき、既習の漢字を使わず、ひらがなで書いてしまう児童が多い。 ・指定された文字数に合わせたり超えたりして振り返りを書こうとする児童が多いが、書くことに対して抵抗がある児童が多々見られる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えをよく聞き、友達の意見を受けて話したり、自分の考えを付け加えて表現したりする活動が不十分であった。 ・習得した漢字の定着率を高める指導が必要である。 ・討論や話し合い活動の指導が不十分だった。
<p>■授業革新推進に 向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し方・聞き方の望ましい姿を意識させ、建設的に意見をつなぎ合う話し合い活動の機会を設けることで話し合うよさを感じられるようにする。 ・習得した漢字を活用する場面を増やす。ドリルを繰り返し活用して、定着率を高める。 ・対話や討論の場を増やし、意見を交流することでよりよい結論を練り上げていくことのよさを味わえるようにする。

【社会】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでの活動は好むが、個人で調べる学習を苦手とする児童が多い。 ・資料から必要な情報を的確に読み取り、分析してまとめることが苦手な児童が多い。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から社会的事象の意味や働きなどを考えたり、自分の考えを述べたりする学習の積み重ねが不十分である。
<p>■授業革新推進に 向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が調べたくなるような課題を設定する。 ・資料をそのまま書き写すのではなく、自分で取捨選択したり、分析したりする手順を示す ・作業的な学習や、具体的な資料を活用して調べる活動を取り入れることで、資料活用能力の育成を図る。 ・児童のICTに関する技能を教科の指導の中でも高める。インターネットで調べるだけでなく、自分の考えを発表するツールとしての活用していく。

【算数】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「小数のわり算」の理解が不十分である。 ・コンパスや分度器の操作が苦手な児童がいる。 ・既習の学習内容が十分定着していない児童が見られる。
---------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを進んで学級全体に説明する児童がいるが、苦手とする児童が多い。
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題の設定→見当をつける→活動→まとめ」といった学習課程を大切にし、児童自身が学習の見直しをもてるようにする ・自分の考えを伝えるとき、学習したキーワードを使って適切に表現するための指導が必要である。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> ・『学びあい』を取り入れ、児童相互の教え合い、学び合いにより、みんなで進める授業を目指す。自分の考えを自分の言葉で表現できる児童を育てる。 ・習熟度別の編成を工夫し、少人数指導の徹底を図り、児童の実態に応じた指導を進める。 ・chromebookで、個別学習やスライドや動画を使って自分の考えを表現する活動を取り入れる。 ・

【理科】

■児童の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験に意欲をもち、楽しんで取り組む児童が多いが、根拠を明らかにして予想を立てたり、実験の方法を自分なりに考えたりする力は十分とは言えない。 ・観察や実験の結果をまとめたり、考察したりしたことを表現することについては個人差が大きい。
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察の結果から、調べたり考えたりできるようにすることが課題である。 ・互いの仮説や考察を児童間で共有し、様々な意見を踏まえて自分の考えを深める態度を育てることが課題である。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> ・実験観察の前に、児童一人一人に予想を立てさせ、その予想と比べながら検証させる時間を確保する。（言語活動の充実） ・児童のノートを電子黒板を使い、全体で共有して、情報交換することを通して、思考力を高める。 ・課題・予想・結果・考察が一目で分かるノートの書き方を指導し、表現力を高める。 ・結果や分かったこと、疑問、さらなる課題を自分の言葉で友達に伝えられるようにスモールステップで指導する。 ・児童のICTに関する技能を教科の指導の中でも高める。

【生活】

■児童の状況	
■指導についての課題	

<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	
---------------------------	--

【音楽】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動に対して意欲的に取り組める児童が多い。 ・グループ活動では男女関係なく教え合いながら協働的に活動することが出来る。 ・力強く響きのある歌声で歌うことが出来るが、器楽演奏になると技能面での差が目立ち最後まで取り組むことが出来ない児童もいる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・技能面に課題があるため、特に器楽演奏になると配慮を要する。 ・音楽をきいて感じたことや音楽活動で工夫したことなど自分の考えを言語化することが苦手である。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアを募るなど外部に協力を仰ぎながら、できるだけ個別指導を行って、出来た実感をもたせる。 ・グループで考えを共有したり形容詞表を使って語彙を増やしたりして、協働的に表現力を高める活動を取り入れる。 ・楽器練習を努力した分出来るようになるという自信をつけさせ、音楽活動の楽しさを感じさせる。

【図画工作】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・題材に好奇心をもって取り組み、意欲的に製作する児童が多い。 ・危険を伴う用具も、安全のルールなどを守り活動する態度が身についている児童が多い。 ・話を聞く場面で、黙って静かに聞く態度が身につけていない児童が多い。 ・規範意識が薄く、しかられないとやってはいけないことが止められない児童がいる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・黙って話を聞く場面、話し合ったり、発言したりして能動的に活動する場面のめりはりをつけること。 ・自由に製作している時間帯に、個々の児童の活動状況を把握して、ふさわしくない行動をしている場合に、適切に指導すること。 ・児童が自分の感覚や行為に自信をもち、自分なりに納得のいく活動や、作品を完成させたときなどの充実感をもたせること。 ・自分の感じたことや考えたことについて、言葉や文章で伝え合ったり、感じ取ったりすることに、楽しさや充実感を得ること。 ・相手や集団全体を思いやって、言葉や行動を考える気持ちを育むこと。

<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が手応えや新鮮な喜びを感じられるような材料や場所、空間などとの出会いの設定を工夫する。 ・一人一人の製作のよさを見取り、具体的に褒めたり、全体の前で紹介したりする機会を頻繁にもち、個々の自己肯定感や、やる気が継続するように授業を組み立てる。 ・活動を通して、自分にとって、どのような意味や価値が作り出されたのかを意識し振り返らせるため、文字に書いたり発言したりする機会を計画的にもつ。
---------------------------	---

【家庭】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・裁縫の実習については意欲的に取り組む児童が多い。 ・裁縫に関しては、得意、不得意で二極化している。不得意な児童では特に、玉結び、玉どめの苦手意識が強いがボタンつけとともに互いに教え合う児童が徐々に増えてきた。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一つ一つの技能が身に付くよう丁寧に指導を積み重ねる必要がある。見通しをもって作業できるような課題や段取りの提示をするとともに、個別のつまずきへの対応を図る。 ・身に付けた知識や技能などを生活に生かすことができるように意識付ける。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が、見通しをもって作業できるよう、拡大した掲示物や段取りの拡大表示を準備したり、デジタル教科書を活用したりした実践を行う。 ・裁縫では、安全に作業するとともに、技能が着実に身に付くように支援員、学校支援本部の方々の協力を得て個別指導を充実させる。また、友達士で教え合う時間を設ける。 ・家族との交流を重視した題材を選び、内容を工夫する。

【体育】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことを好み、どの領域にも意欲的に取り組む児童が多い。 ・学習のめあてに対して、工夫したり、考えたりして動くことが弱い。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてとふりかえりの時間を十分にとることができなかった。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用し、お手本となる動きを見せるようにする。 ・動きのポイントが記載されている学習カードを準備して、運動後に自分の動きを振り返られるようにする。 ・友達同士での教え合いの時間を毎時間作り、お互いを認め合える場を作る。

【外国語活動】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTとのコミュニケーションや会話練習に楽しみながら取り組む姿が見られる。 ・ゲームに恥ずかしがらずに参加している児童が多い。 ・習い事などで英語に慣れ親しんでいる児童が積極的に友達に教える様子が見られる。 ・少しでも意味が理解できないと投げ出してしまう児童が多い。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習のフレーズや単語を使った挨拶や会話を多くさせたい。 ・外国語を苦手としている児童も意欲的に参加でき、持続できる活動内容を考えたい。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュカードなどを活用しながら既習事項を繰り返し確認し、身に付けられるようにする。 ・ゲーム性を含む活動を多く取り入れ、友達とのコミュニケーションを図る場面を増やす。 ・文科省のワークシートを活用し、書く活動を取り入れていく。

【総合的な学習の時間】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでの話し合いや作業などの活動の際に、目的から外れた行動を取ってしまう児童がいる。 ・調べ学習の課題や資料を見付けることが困難な児童がいる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての児童が意欲的に参加できるようにさせたい。 ・地域との連携を生かした活動を行いたい。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までの単元を生かし、自分たちの生活との関わり合いを意識できるような事象について具体的に提示し、問題意識をもちやすくする。 ・プログラミング学習を積極的に取り入れ、自動化・AIと言った分野も経験し、Society5.0とはなにかを取り上げていく。

○ 言語活動の充実

- ・集中して人の話を聞けるようにする。
- ・話し合い活動を充実させ、相手の話を受けて建設的に互いの意見をつなぎ合う機会を増やす。
- ・あらゆる教科を通して、振り返りを中心に書く活動を重視する。
- ・協働的な活動を通して、互いに学び合う機会を増やす。
- ・日頃から国語辞典を活用する機会を設定する。

【特別の教科道徳】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読み物資料から登場人物の判断や行動について、自分の考えを友達に伝えることはできるが、友達との意見の交流の中で、ねらいとする道徳的価値に近づくことができていない児童が多い。
---------------	--

■指導についての課題	・ねらいとする道徳的価値に近付けるための話し合いの工夫や発問の工夫が不十分である。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・児童の意見の伝え合いのなかで、出ている意見を論点整理したり、教員がファシリテーターとして間に入ったりして、より深い話し合いにつなげる。

【令和4年度 授業改善推進プラン】

板橋区立中根橋小学校

第6学年

【国語】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見をもつことに抵抗を示す児童が多い。 ・漢字を正しく書くことが十分でなく、語彙力が少ない。 ・RSTの結果、能力値平均は全体より低いが特に具体例同定（辞書）が低い。 ・文章を読む上での既習事項の定着が不十分で活用する場面でも生かせない児童が多い。 ・文章で書くことに抵抗感を強くもっている。 ・既習の漢字の定着（書き取り）が不十分である。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間の発言に対して質問や感想を双方向に伝え合うファシリテートが不十分である。 ・全体の前で自分の考えをつなげる場面の手だてが不十分である。 ・説明的文章や文学的文章を読んで学習したことを日常的な表現に生かす場面が不十分である。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の話を聞くことに重点を置き、自分の意見や感想、質問を他者に伝える場面を意図的に設定していく。 ・文章を読む学習を通して、指示語や接続語、文末表現、文章の構造（構成）に注意して読ませ、言葉のつながりや段落相互の関係を捉える学習を重視していく。 ・毎時間辞書を引く機会を設定し、語彙力が上がるようにしていく。 ・Chromebookを文房具として効果的に活用し、互いの意見を可視化したり、共有したりしていく。

【社会】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当時の様子の想像図や写真等から見つけたり、気付いたことを交流したりする活動に意欲的な児童が多い。 ・資料から必要な情報を的確に読み取り、分析してまとめることを苦手としている児童が多い。 ・年表から読み取ったり、歴史上の人物や出来事を年表に当てはめたりすることが苦手な児童が多い。 ・グループでの活動は好むが、個人で調べる活動を苦手とする児童が多い。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から読み取り、そこから考えたことや、分かったことを考察する指導が不十分である。 ・年表を活用した学習が不十分である。 ・児童が追求する意欲をもてるような課題を提示できていない。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が調べる意欲をもてるような課題を設定する。 ・導入にICT教材を活用し、児童の興味・関心を引き出すようにする。 ・資料を読み取るポイントを、ディスプレイを使って指導する。 ・毎時間の授業の中で、歴史上の人物や出来事が年表のどこに

	<p>記載されているのかを確かめるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを使って調べるだけでなく個人で調べたものをスライド等にまとめ、発表する機会を多くもつ。
--	---

【算数】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを説明する意欲の高い児童がいる一方で、言葉で分かりやすく説明することが苦手な児童も多い。 ・計算において、途中の計算を省いたり、約分をし忘れたりする児童が見られる。 ・既習の学習内容が十分定着していない児童が見られる。 ・コンパスや分度器の操作が苦手な児童が見られる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の学習が身に付くように、補充プリントを準備し、反復練習に取り組む必要がある。 ・学習したキーワードを使って、自分の考えを的確に表現する指導が不十分である。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別のクラス編成を工夫し、児童に合った授業展開を工夫する。 ・小グループで学び合う活動を取り入れ、自分の考えに自信をもてるようにする。 ・Chromebookでの個別学習やフォームをつかった振り返り、スライドを使って自分の考えを表現する活動を取り入れる。

【理科】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験に意欲的に取り組む児童が多いが、根拠をもとにして予想を立てたり、実験の方法を考えたりする力は十分とは言えない。 ・観察・実験などの結果をまとめたり、考察したりしたことを表現することを苦手とする児童が多い。 ・既習事項の定着が十分でない児童が見られる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験などから根拠を明らかにして予想を立てられるようにすることが課題である。 ・既習事項を用いて自分なりに実験や観察の方法を考える時間を十分に確保できていない。 ・互いの仮説や考察を共有し、様々な意見を踏まえて自分の考えを深めようとする態度を育てることが課題である。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予想を立てる際に、教師が根拠にできる既習事項を示し、予想を立てる時間と、児童から出てきた予想について話し合う時間を十分に確保する。 ・自分なりの仮説を立て、それを実証する方法を考えて実験し、結果を考察する経験を積み重ねていけるようにする。 ・児童のノートを電子黒板を使って全体で共有し、情報交換をすることで思考力や表現力を高める。

【音楽】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鼓笛隊の楽器演奏に熱心に取り組む児童が増えた。 ・楽器を大切にしたり他の人の音を聴いたりする心が未熟である。 ・学習に落ち着いて取り組めない児童が目立つ。
---------------	--

<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない部分があったり気持ちがのらなかつたりすると、活動に取り組むことができない。 ・学習に対する意欲が低く、歌声が出ない。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアを募るなど外部に協力を仰ぎながら、できるだけ個別指導を行って、出来るようになる楽しさを味わわせる。 ・グループ活動など協働して学べる活動を積極的に取り入れ、教え合いや学び合いを通して主体的に学習できるような場を設定する。 ・最高学年としての自覚をもたせ、運動会や集会などで他学年へ努力の大切さを伝えられるよう声をかける。

【図画工作】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・題材に意欲的に取り組む児童が多いが、深く追求したり、集中して取り組み続けたりすることが難しい。 ・悩んだり考えたりする場面になると、取り組むことができずに、立ち歩いて製作しなくなる児童もいる。 ・自分の考えや感じたことを、文にして表す活動に取り組めない児童もいる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が自分の行動に責任をもって、自分で正しい行動を選ぶ判断をすること。 ・児童が自分の感覚や行為に自信をもち、自分なりに納得のいく活動や、作品を完成させたときなどに充実感をもつこと。 ・自分の感じたことや考えたことについて、言葉や文章で伝え合ったり、感じ取ったりすることに、楽しさや充実感を得ること。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・責任をもって準備・片付けなど行っている児童を見逃さず、褒め励ます。 ・自分では発想を広げることが難しい児童のために、いくつかの製作見本などを用意し、自分のつくってみたい方向性をイメージしやすいようにする。 ・児童が手応えや新鮮な喜びを感じられるような材料や場所、空間などとの出会いを設定する。 ・活動を通して、自分にとって、どのような意味や価値が作り出されたのかを振り返らせるため、作品カードを書かせる。その際書けないでいる児童の作品について、その作品の特徴やよさを伝えてあげ、価値付ける。

【家庭】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習への関心・興味・技能などに個人差があり、一斉授業では、ねらいを達成できない困難さがある。 ・自分の考えをワークシートに詳しく書ける児童と、そうでない児童の差が見られる。 ・作業や実習の場面では、ほとんどの児童が取り組む。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に興味もてるような導入を工夫する。 ・関心や技能面でも個人差が大きいので、グループで作業する、話し合う、友達のことを聞くなど、交流し合う場を設定する。 ・裁縫や調理では、自分でできたという達成感・充実感もてるように、支援員の方々や、保護者の協力を得ること

	<p>とが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを家庭で実践できるような意識付けをする。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・興味をもたせるために、導入を工夫する（具体物・資料の提示）。 ・見通しをもって取り組めるように、学習の流れや今日やることを黒板に貼っておく。終わりには、必ず、次週の予定や持ち物を伝える。担任にも早めに伝え、再度連絡してもらう。 ・集中できるように、①作業や話し合いの場を設定する ②視聴覚教材などを利用する、など2時間の使い方を工夫する。

【体育】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことに意欲的な児童とそうでない児童の差が大きい。 ・準備や片付け、チームで取り組む運動では、男女仲良く協力して活動している。 ・学習のめあてに対して、工夫したり、考えたりして動くことが十分とはいえない。 ・学習規律が確立していない中で落ち着きがない。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてと振り返りの時間を十分にとることができていない。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・説明は短く、一人あたりの運動量を確保していく。 ・学習に対する構え（身だしなみ・準備・後片付け）を重視して、規律ある行動が定着するようにしていく。 ・児童が主体的に活動できるチーム作りや話し合い活動を通して、互いに協力して実践できるように工夫していく。

【外国語活動】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・習い事などで英語に慣れ親しんでいる児童と、既習の単語やフレーズが定着していない児童との差が大きい。 ・ゲームには比較的意欲的に取り組んでいる。 ・分からないことがあるとすぐに諦めてしまい、外国語を苦手とする児童も見られる。 ・互いにコミュニケーションを図っていくことが課題である。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習のフレーズや単語を組み合わせて会話する中で、言いっぱなしで終わりにせず、常に反応することを意識させていく。 ・外国語を苦手としている児童も意欲的に参加でき、持続しにくい雰囲気がある。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュカードなどを活用しながら既習事項やアルファベットを繰り返し確認し、身に付けられるようにする。 ・ゲーム的な活動を取り入れたり、日本語を使ってやっていることが分かるようにしたりして、友達とコミュニケーションを図りやすくしていく。 ・ワークシートを用意し、書く活動を多く取り入れる。

【総合的な学習の時間】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドづくりには意欲的に取り組むが、自分から課題を見付けたり、資料を収集したりすることが困難な児童がいる。 ・自ら進んで活動に取り組む児童とそうでない児童との差が大きい。 ・探究的な学習の展開において不十分な学習過程がある。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に必要な時間の差が大きい。 ・課題解決に合った資料を見付けることが苦手な児童がいる。 ・活動に見通しをもって活動することが苦手な児童がいる。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単に調べて終わりにするのではなく、児童自身で探究的に追究できるの展開を計画していく。 ・課題に対して自分事として捉えられるように日常な生活を視野に目を向けるようにしていく。 ・児童の意見を引き出し、話し合い活動をする中で、児童同士で活動できるようにする。 ・Chromebook を使いスライドの作成につながる積極的な協働学習を設定し、周囲に発信する機会を多く設定していく。

【特別の教科 道徳】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読み物資料から登場人物の判断や行動について、自分の考えを友達に伝えることはできるが、友達との意見交流の中で、ねらいとする道徳的価値に近づくことができていない。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいとする道徳的価値に近付けるための話し合いの工夫や発問の工夫が不十分である。 ・読み物資料にとどまらず、自分の生活と関連付けて意見を交流することが乏しい。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・判断が分かれる発問（2択）を工夫することによって、自分の考えをもちやすいようにする。 ・始めに抱いた自分の考えを振り返る場面を設定することで、道徳的価値に向けられるようにする。

○言語活動の充実

- ・日頃から国語辞典活用する機会を設定する。
- ・集中して人の話を聞けるようにする。
- ・話し合い活動を充実させ、互いの意見をつなぎ合う機会を増やす。
- ・協働的な活動を通して、全員が学びに向かえるように教師がファシリテートしていく。